



黒岩神奈川県知事が現場訪問に来院しました。

令和2年12月8日に、黒岩祐治神奈川県知事が、新型コロナウイルス感染症の受け入れ病棟へ激励と職員との意見交換のために当センターへ来院されました。

知事の激励を受け、より一層の患者さん、ご家族の皆様、そして病院関係者が安心して来院できるよう感染防止対策をまいります。



左上：新型コロナウイルス受け入れ病棟視察の様子

右上：来院時手指消毒の様子

右下：職員への激励の様子

左下：知事との意見交換の様子

Contents

- 黒岩祐治神奈川県知事が来院しました。
- 部署リレー（2A病棟、医療安全推進室）
- ご寄附のお礼
- 講演会等開催しました。

身体ケア病棟（2A病棟）

2A病棟は、身体ケアを必要とする患者さんが多く入院されており、比較的長期入院の方が多い病棟です。以前は精神科の病院では数十年入院している患者さんは珍しくありませんでしたが、県立の精神科病院として、専門的な医療の提供を目指し、精神症状が落ち着かれた患者さんに対しては地域で生活出来るよう、医師・精神保健福祉士・連携サポートセンター看護師と病棟看護師が協力し、退院支援を進めています。



カンファレンス

15年以上前から言われている「入院医療中心から地域生活中心へ」の流れはやっと精神科にも届いてきました。そして、「精神科にも対応した地域包括システム」に基づき、精神疾患を持つ方々が退院後に地域で生活する場所は、少しずつ広がりを見せています。長期に入院していた方が地域で生活するには、安心できるサポートが必要です。当センターでは退院された方が安心して生活出来るように、慣れ親しんだ病棟看護師が訪問看護に同行し、

フォローすることも行っています。そのような中で、病院の中ではみられなかった患者さんの新たな力を発見し、持っている力を信じて支援することの素晴らしさを感じています。



集合写真

また、神奈川県精神科コロナ重点医療機関として、当病棟の結核ユニットなどで受け入れを行っています。基本的には軽症もしくは無症候の患者さんですが、突然の感染で不安を抱える患者さんに対し、肺炎症状の観察だけでなく、精神科の観察を行いながら、無事に観察期間が終えられるよう、医師と協力して看護を提供しています。

医療安全推進室

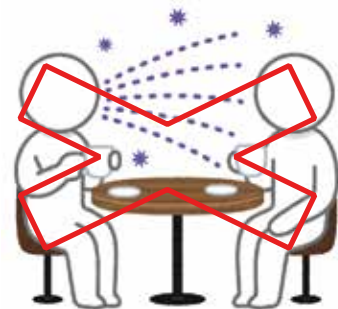
医療安全推進室は、センターの基本方針「みんなのちからで、安全な医療に取り組みます」のもと安全な療養環境を創ることをめざしています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当センターでも陽性患者さんを受け入れることとなり、標準予防策の実践、患者さんを案内する動線や物の配置の検討、職員の防護用具の着脱手順の周知、手指衛生方法の再確認等、感染対策の見直しの機会となりました。患者さんや職員のみinnで感染対策に取り組みました。また、5月に緊急事態宣言が解除されたあとの「対策緩和」では、感染対策を継続しながら少しでも早く元の生活に戻るための方策について検討しました。具体的には、敷地内散歩、散髪、外出・外泊、面会の再開を順次行いました。患者さんにご家族の皆様のご協力によりこれまでは感染症の持ち込みもなく経過できました。

11月からの第3波の流行に対して、再度感染対策を強化することになりました。1月に再度緊急事態宣言が発出されるなど、難しい局面はまだありますが、出来る限り治療の歩みを継続できるよう感染予防対策と医療安全対策を、患者さんにご家族と共に取り組んでいきたいと考えています。

お願い

- ・食事の時は、会話をご遠慮ください。
- ・食事が終わり、マスクをしてから会話をお楽しみ下さい。



感染症が院内で広がらないよう
ご協力のほどよろしくお祈りします。

精神医療センター 所長

…… ご寄附ありがとうございました。……

新型コロナウイルス感染症に対し医療の最前線で尽力する医療従事者を応援したい皆様から横浜市に寄せられた寄附金を活用して、専門図書など研究研修に必要な備品整備、院内保育園の環境整備、ナースシューズの更新など職員の勤務環境の改善を図りました。ご寄附いただいた皆様ありがとうございました。



認知症講演会を開催しました

令和2年9月9日(水)当センター講堂にて「令和2年度認知症講演会」を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルスによる制約の中でいつものような参加募集は行わず、近隣の方々をお招きして、実施しました。

講師の三橋様は、ご自身が認知症のご両親及び奥様の介護を通して、得られた経験から、認知症は“忘れても心は生きている”ことを分かりやすく、そして温かくお話していただきました。

この模様は、当センターのホームページや当センターのYouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。

こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



令和2年度 神奈川県立精神医療センター認知症講演会
コロナ禍による制約の中でも、認知症に関する普及啓発の活動を推進するため、近隣の方々にご来院いただき、小規模で実施した講演会の動画を配信しました。

認知症:地域で 共に暮らす勘所

講師: 三橋 良博 様
公益社団法人
認知症の人と家族の会 神奈川県支部世話人

認知症のご両親を介護された経験があり、現在は若年性認知症の奥様の介護をしながら、各所で講演やボランティア等を行ってられます。

講演時間: 約45分

いつも奥様に寄り添う介護をしているからこそ得られる、気付きの積み重ねを通して、認知症は“**忘れても心は生きている**”ことをわかりやすく、そして温かくお話していただきます。

当センターホームページ (<http://seishin.kanagawa-pho.jp/>) の【公開講座・イベント】もしくはQRコードから御覧ください。
神奈川県立精神医療センター デイケア科 村田 045-822-0241

第1回依存症セミナーを開催しました

令和2年12月2日(水)、3日(木)に当センター講堂にて「令和2年度第1回依存症セミナー」を開催しました。

新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、例年より定員を絞り、依存症治療及び支援に携わる方々を対象として、2日間にわたり当センターの職員が依存症についての概論、事例による看護、相談、支援の実際等の講義を行いました。また、依存症当事者による体験談の発表も同時に行いました。

